



ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



パネルシアターの魅力!

みなさんはパネルシアターをご存知だと思います。私はココに来るまでよく知りませんでした。このパネルシアターというものが、どれだけ幼児期の子どもたちに適した表現方法（教具）かということは、知識も経験もない私にも、一目瞭然でした!!

初めは、パネルに絵を貼り付けながら後ろで語るだけのように見えたが、本当は、語りの間合いや操作のタイミングが大切で、演技手と観客との即興的なやりとりも醍醐味で、とても奥深いものだと知りました。（むしろ演劇に近いと思います）

そこで、これを幼児教育の現場に是非広めたいと考え、本園主催の「幼児教育フォーラム」で、保育関係者対象に「DANパネ団」（パネルシアター専門の劇団）を招いてのワークショップを開きました。そして、絵人形の持ち方や動かし方のちょっとしたコツなども教えていただき大好評でした。



そこでお知らせです。

来る12月23日（日）13時30分から、東京からパネルシアター創始者の古宇田亮順先生を迎えて、別府

の社会福祉会館でパネルシアターの公演があるそうです。「DANパネ団」も登場します。（本園の福良先生も劇団の一員として出演します）パネルシアターに関わることがある方は、演技手としてのスキルを学ぶために、また純粋に鑑賞の目的で子どもと行っても、子どもがとても喜ぶと思います。

チケットの販売については、附属幼稚園（097-544-4449）福良佳美までお問い合わせ下さい。詳しい内容は、本園ホームページに掲載していますのでご覧ください。

まさかのバナナ!

附属幼稚園に「バナナ」の木があるって知ってましたか？ その木に実が付いたのです！ここまで大きくなるのは珍しいとのこと（これ以上は無理？）で、子どもたちに見せるために収穫したのですが、これは滅多に見られる代物ではありません！（佐野植物公園の温室にはありますよ!）

先日、来年度の「入園児募集説明会」をしましたが、その中で、本園には果樹がたくさん植えられていることを自慢しました。がしかし！バナナのことを入れ忘れました！**バナナの木がある幼稚園**・・・何だか**「子どもの楽園」**って感じがしていいですね～！来年はバナナも本園の自慢に入れてみましょうかね？!

本園では、年長さんはモルモットの飼育をします。（教育課程に位置づけられています）毎朝、一日も欠かさず、当番さんが飼育小屋の中をきれいに掃除し、食べ物を与え、お世話をしています。初めは、なぜ世話をするのか、どうすればいいのか全くわからなかった年長さんでしたが、「育てたい?」と問われて決断したからには、命をあずかる責任は、先生ではなく自分たちにあることを、日々のお世話を重ねる中で感じ取ってきているようです。この経験が、命あるものに接するときの人のとしての基礎をつくっていくのだろうと思います。これも幼児期に培われるという非認知的能力の一つです。



命を守り育てるNO.1の責任を!